

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	府中市小柳町2-11-2 TEBS BUILDING 3F
園名	ソラスト府中保育園

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

感触の変化を楽しむ

〈テーマの設定理由〉

色水遊びで色の変化、色紙を水に入れることでの溶ける様子など実験のような活動に興味を示していた。
夏祭りでかき氷を作り、そこで使用した綿の感触を楽しんでいた。

2. 活動スケジュール

2026年8月7日(金)

- ・ホールでヤマハに参加
- ・室内に戻り排泄、水分補給
- ・自分の席に座り、保育者の説明を聞く
- ・実際に綿の感触を楽しみ、ハンドソープを混ぜた後、色水を混ぜた後の変化を見る

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・綿
- ・ハンドソープ（キレイキレイ）
- ・色水
- ・皿

4. 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・皿にのせた綿を一人ひとつずつ配付する
- ・綿の感触を知る
- ・綿にハンドソープを2～3プッシュし揉みながら混ぜ、感触の変化を感じる
- ・絵の具を溶かした色水を掛け揉んで混ぜる
- ・紙コップに入れ袋でまとめてカバンにしまい持ち帰る

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

- ・綿を触り「ふわふわしてる」と言ったり揉んだりちぎってみたりして感触を楽しんでいた。
- ・ハンドソープをいれたことによる感触の変化を感じ、ハンドソープをいれるまでは鳴らなかった「シャカシャカ」という音に気づき自分で揉みながら音を聞いていた。
- ・段々と泡立つ様子を友だちと見せ合いながら観察していた。
- ・絵の具を溶かした色水をかけることで、「シュワツ」とした音に変化する様子に気づき、静かに耳を傾けていた。
- ・色水をかけることでの泡の変化に気づき楽しんでいた。



5. 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・普段使用している素材でも、違う素材を用いることで新たな遊びに発展することができ、子どもたち自身も新たな発見を楽しむことができていた。
- ・一つの工程ごとに全員で観察し、次の工程に移ることで同じ工程でも感じ方の違いや、集中し静かに楽しむ子、友だちと見せ合いながら楽しむ子などそれぞれの楽しみ方に気づくことができた。
- ・視覚、触覚、嗅覚、聴覚で感じて遊ぶことができた。遊びの発展として色水を追加し色が混ざることでの変化を楽しめるように設定して行いたい。